

別記様式

会 議 録

会議の名称	令和7年度第4回戸田市外部評価委員会 (施策28 環境衛生の充実)
開催日時	令和7年8月1日(金) 15時00分 ～ 16時20分
開催方法	501会議室
委員長等氏名	委員長 佐藤 徹 副委員長 長野 基
出席者氏名 (委員)	委員 青山 裕之 委員 溝上 西二 委員 宮崎 仁美 委員 悴田 康二 委員 古賀 麻明利
欠席者氏名 (委員)	無し
説明のため 出席した者	環境経済部 細井次長 環境課 伊田主幹 河川課 内藤課長
事務局	渡辺課長 石嶋主幹 北田副主幹 藤田主任
議 題	1 外部評価委員紹介 2 担当部局紹介 3 外部評価ヒアリング
会議の経過 及び 会議結果	別紙のとおり
会議資料	1 次第及びタイムテーブル 2 施策評価シート及び事務事業評価シート 3 ロジック・モデルシート 4 事前質問及び回答

(会議の経過)

発 言 者	議題・発言内容・決定事項
担当部局 委員 担当部局 委員 委員 担当部局 委員	1 開 会 2 外部評価委員紹介 各委員の紹介を行った。 3 担当部局紹介 評価対象施策担当部局の紹介を行った。 4 外部評価ヒアリング ○施策の概要 概要説明を行った。 ○事務事業の妥当性、施策指標の妥当性 ロジック・モデルシート上で、活動欄に「スズメバチの巣を駆除する」と具体的に記載されているが、なぜスズメバチに限定しているのか。サルなどその他の害獣害虫が出現することもあるように思う。 スズメバチは生命に危害を与えるものであるため特出ししており、環境衛生の観点から、巣を駆除している。様々な生物に対する対策は、各部署で行っており、環境課ではスズメバチを担当しているが、分かりやすい表現に努めたい。 承知した。意見として、特出しするのであればスズメバチに関する評価指標などがあると良いと思う。 先日火災が発生した蕨戸田衛生センターについては、本施策の範疇か。 そのとおりである。火災原因は不明である。 犬のフンの放置について、注意や取締りの例はあるか。

担当部局	放置した瞬間を確認することは難しく、地域性も特段ない。しかし、犬の散歩は基本的に同じルートを通ることが多いので、放置が多い箇所にはフン放置禁止の路面シートを貼る等の対策を行っている。また、最も効果的なのは地域の人であるため、「イエローチョーク作戦」と称して、放置された犬のフンの周りに地域住民がチョークで印をつけ、日時も道路に記録する。後日、同じ道をその飼い主が通った時に、誰かに見られていることを自覚し、放置することを控える効果がある。
委員	ごみが不法投棄されやすい場所と、不法投棄されたごみの対応方法について教えてほしい。
担当部局	環境課で対応している不法投棄は、市内に約3,700箇所あるごみ集積所において、ルールを守らずに投棄されたごみを指す。不法投棄ごみについては、警告札を貼って注意喚起している。
委員	道路清掃車を以前はよく見かけたが、最近は見ない気がする。実態を教えてください。
担当部局	道路清掃車の運行については道路管理課の所掌であり、詳細については把握していない。
委員	今年7月に発生した蕨戸田衛生センターでの火災について、リチウムイオン電池の関係等はあるのか。
担当部局	出火原因は消防が調査したが、リチウムイオン電池が関係しているか否か不明である。なお、火元は粗大ごみ処理施設付近である。
委員	戸田蕨衛生センターの老朽化に伴う建替え等の検討について、該当する事務事業を教えてください。
担当部局	戸田蕨衛生センターの運営は、蕨市と戸田市で構成された蕨戸田衛生セン

	ター組合が担っている。戸田市は蕨戸田衛生センター組合に対して分担金を支出しており、関連性が強い事務事業は「戸田蕨衛生センター分担金」である。
委員	施策指標「ごみの排出量」について、戸田市第5期総合振興計画の前期計画中の達成値は、市民一人1日当たり800g台となっている。さいたま市は700g台であるが、戸田市はごみが減りづらい構造があるのか。
担当部局	本指標は、生活系ごみと事業系ごみの合計値である。さいたま市がどのように算出しているかは把握しておらず、この場での比較は難しい。
委員	生活系ごみのみを指標とするか、現行どおり事業系ごみとの合計値を指標とするか、どちらの方が施策の効果を表すのに適切と考えているか。
担当部局	蕨市と比較すると、生活系ごみは蕨市より少ないが、事業系ごみは蕨市より多いことがわかっている。指標の設定の仕方については、引き続き検討したい。
委員	ごみの排出量について、これまでの推移をどのように分析しているか。
担当部局	長期的には減少傾向が続いていたが、コロナ禍の令和2年度は一時的に増加し、その後は再び減少傾向にある。
委員	ロジック・モデルシート上で、ごみの排出量の削減について記載されているが、リサイクルの考え方は含まれているか。生ごみの堆肥化や3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進は、本施策にも施策27「生活環境の保全」にも含まれていないように思う。
担当部局	3Rについては施策27の範疇であり、本施策においてもごみの排出量抑制という点で関係している。リサイクルの要素をどう取り扱うか検討したい。

委員	蕨戸田衛生センターの老朽化対策について、市の考え方を知りたい。
担当部局	これまで延命化工事を2回実施し当面使用できる状況を整えつつ、ゴミ回収に影響が出ないよう、限られた土地の中で効率的に建て替える手法を検討していたところに、今回の火災が発生した。まずは復旧できるか否かの検討を進め、ゴミ回収への影響を最小限に抑えることを優先する。今回の火災により、ゴミ収集所での収集を3日間中止したが、燃やすゴミ、燃やさないゴミ、資源ゴミの1サイクル3日間に何とか留められたと考えている。今後、改修費も含めて、蕨戸田衛生センター組合及び蕨市と検討していく。
委員	先ほど害獣害虫のうち生命に危険を及ぼすスズメバチに特化している話があった。危険を及ぼすという観点では、ヒアリや毒草なども含まれる。スズメバチがあくまで一例であるなら理解できるのだが。
担当部局	市全体では色々な対策を行っているが、環境課で実施しているのはスズメバチとなる。市全体として分かりやすくできるよう関係課と調整を行っている。
委員	○資源の方向性、その他 蕨戸田衛生センターの火災によって、今後の予算の方向性に変化はあるか。
担当部局	蕨戸田衛生センター組合から現時点で詳しい情報が届いていないため、判断できない状況である。しかし、これまで想定していた予算どおりにはいかないと考えている。
委員	蕨戸田衛生センターの火災は考慮せず評価を行うという理解で良いか。
委員長	ヒアリングと施策評価シート等の資料の内容から総合的に判断するものである。
委員	蕨戸田衛生センターについて、清掃収集に係る事務委託の労務費に関する

	今後の見通しを教えてください。
担当部局	契約の都度精査は行っているが、人件費の上昇が見込まれるため、委託費が増額していく見通しである。
委員	公契約条例等、市からの委託に係る労務費の最低基準等を定めたり、議会に諮ったりしているか。
事務局	そのような条例は定めておらず、議会提出も行っていない。契約の事務を所掌する管財入札課からは、人件費の高騰を踏まえた対応をするよう庁内に通知は発出された。
委員	ごみ収集の方法について、個別収集方式になっていく政策決定があるとなれば福祉部門が関わることになると思うが、変更予定はあるか。
担当部局	現時点では、ステーション方式を継続する方針である。
委員	収集車両の増加やLINE申請の促進等、粗大ごみ収集体制の強化について説明してほしい。
担当部局	粗大ごみの申込件数は増加傾向にある。品目を分析すると、以前は高価だった家具や電化製品が、現在は安価で手軽に入手できるようになり、買い替える人が増えた印象がある。また、部屋の模様替えなどで、まだ使える物を買替える人も増えているかもしれない。収集の申込に関して、若い世代が多い本市では、電話やネットでの申請に代えてLINE申請のニーズが高く、昨年から導入した。また、様々な小型家電にも搭載されているボタン電池やリチウムイオン電池の適切な出し方について、周知に力を注いでいる。
委員	駅前喫煙所の今後の方向性について説明してほしい。
担当部局	たばこを吸わない人にとって喫煙所は好ましくない施設であり、様々な意見が届く。条例で駅付近の一定区画は喫煙禁止にしていることから、公設の

	喫煙所を用意している。駅前に喫煙所を設置すべきか、設置するとしたらパーテーション式ではなく密閉式にすべきか等、公設の喫煙所の在り方を検討している状況である。密閉式の場合、建設費と維持費が高い点が懸念される。
委員	改めての意見となるが、事務事業「環境衛生事務費」について、毒草は一気に増える可能性がある。自治体によっては、速やかな駆除を行っているが、戸田市においてもスズメバチに特化せず、色々なものを対象として対策に力を入れるべきと考える。
委員	以前、新宿御苑でデング熱のウイルスを媒介した蚊が確認され、一時閉園となり消毒したことがあったが、本施策はデング熱対策も含んでいるか知りたい。
担当部局	感染症としての対応は保健部門、駆除となると環境課の所掌になるが、保健部門との連携は必要である。防護服を着ての消毒作業や予防対策については環境課が担う。
委員	水が低地に溜まって蚊が発生した場合、対策は本施策の範疇となるか。
担当部局	状況によって判断することになるが、発生場所としてのU字溝や空き地等の清掃は環境課が行う。駆除に関して、事務分掌上は広く対応できるような形としている。
委員	戸田市文化会館や戸田駅付近及び新曽地区のレストラン付近で、排水桝の悪臭がする。食事をする場所の近くで悪臭がするのは問題である。排水桝の蓋にテープを貼って対応すると聞いたが、改善してほしい。
担当部局	戸田市文化会館には浄化槽があり、汚泥が発生しているため、臭いの発生を完全に防ぐことは困難である。駅前は下水管が整備されていない箇所があり、浄化槽を使用し処理済みであるが側溝に水が流れ込むため、現状では完全な解決が難しい面もある。また、古い浄化槽は性能が低いので、臭いが強く発生している可能性がある。今後も、適宜状況を確認し、可能な対策を検

	討する。
委員	５３０運動について、回収量が微減傾向にあるが、どのように捉えればよいか。
担当部局	５３０運動は年４回実施しており、参加人数に大きな変化はない。回収量が減ってきている要因は、路上のポイ捨てが減ってきていることが大きいと考えている。また、５３０運動だけでなく、地域の方や企業が自主的に清掃活動を行っていることも影響していると思われる。したがって、５３０運動が形骸化してきているとは捉えていない。
委員長	生活系ごみと事業系ごみについて、事業系ごみが蕨市と比べて多いとのことだが、事業系ごみの現状について啓発を行う事業は、環境衛生事務費に含まれるのか。
担当部局	含まれる。
委員長	具体的な啓発活動としては、事業所が集まる場に出向いて、説明等を行ったのか。
担当部局	事業系ごみは産業廃棄物ではなく一般ごみに分類されるが、分別が不十分であるという問題がある。啓発活動としては、昨年、事業系ごみ専用のごみ袋をリニューアルし、事業系ごみの種類や分別喚起の記載を追加した。また、袋の色を薄くすることで、中身が外側から見えるようになり、収集者が事業者に注意や分別喚起がしやすくなるように工夫した。
委員長	ロジック・モデルは仮説であるので、把握している事業系ごみの排出量によって、袋のリニューアル等の取組の効果を検証することが大切である。
委員	事業系ごみの分別については、意図的に分別していないのか、ルールが分からずに分別できていないのかによって対策が異なってくる。また、企業の担当者に対してルールを指導したり、ルールを守らなかった場合にはペナル

担当部局	ティを課したりすることも必要である 蕨戸田衛生センター及び蕨市と調整しながら、対策を検討したい。 5 閉 会
-------------	---